

令和7年10月 中学校統合に関する意見交換会（要旨）

青=人間関係・精神面

赤=学習・行事・部活動

緑=通学等

地区名	生保内	神代	西明寺	桧木内
日 時	10/8（水）午後6時30分～	10/10（金）午後6時30分～	10/14（火）午後6時30分～	10/15（水）午後6時30分～
会 場	田沢湖総合開発センター	就業改善センター	西木総合開発センター	桧木内公民館
参加人数	29名	10名	7名	5名
統合の組合せ 生保内・神代 西明寺・桧木内 の4校統合	期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・友達が増え、友人関係が広がる。 ・コミュニケーション能力の向上 ・友人関係の固定化からの脱却 ・いろいろな考えに触れることができる ・競争意識（向上心） ・切磋琢磨 ・部活動が充実する ・生中単独で進めば学校としてうまく機能しない可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会性を身に付けることができる ・新しい学校が誕生することのワクワク感 ・人数がえると学校に活気がでる ・部活動や行事の盛り上がり ・スポーツの充実 ・地域の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・競争意識が生まれる（部活動、勉強） ・新しい友達ができる。 ・人間関係の充実 ・固定化した人間関係からの脱却 ・学習環境の充実 ・活動の幅が増える。 ・チーム・団体競技の活発化（単独チーム） ・部活動の選択肢が広がる ・仙北市内で一丸となった部（クラブ）活動
	心配なこと、 配慮してほしいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの仲間の中に入ることへの不安 ・統合後の子どもたちのメンタルへの配慮 ・冬のバス通学 ・朝の通学時間が早い ・通学時間が長く、生活に余裕がなくなる。 ・JRを利用した通学の提案 ・部活動は、地域移行など状況変化があり、メリットとはいいがたい ・学校を終えた後の居場所 ・生保内地区は観光資源が豊富で企業人も元気である。そういう地域から中学校が無くなると若者は減り、地域は衰退する。 ・廃校に企業を誘致するなどの施策が必要 ・生保内小と統合小との交流 ・他の3校が生保内に来る選択肢も ・教職員アンケートは参考にはならない。 ・地域住民や子どもたちの意見も聞くべき ・部活動に関わる指定校変更が出てこないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・馴染めるか不安な生徒や保護者も ・体調不良等の早退時の迎え（遠距離） ・核家族の人たちが不便を生じない仕組みを ・スクールバス運転手の確保 ・バスの安全性 ・小・中それぞれに子どもがいる場合の対応 ・各学校、地域の行事を大切にする努力を ・リモート授業やバスを利用した行事 ・地域の文化のちがい。 ・固有文化の消失。 ・地域と生徒との関わりの減少 ・統合することのよさが、見えづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受験生へのストレス ・はじめない子どもが出てくる ・心のケアの充実（相談員、S C等） ・保健室を入室しやすい環境へ ・相談しやすい体制を ・各部活動の活動場所が重複するのでは。 ・部活動のクラブチームへの移行 ・地域の行事、活動への関わりが困難に。 ・通学や帰宅時間に対応できるのか ・スクールバスの本数・クマ対策 ・学校のない地域の衰退が心配 ・感染症等の流行が広がる可能性
統合の時期 令和11年度統合	期待すること	・整ってからの統合となる	・何回も移動しなくてよい	・引越作業の軽減
	心配なこと、 配慮してほしいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・環境が整えば、令和11年度よりも前でもなぜ統合を急ぐのか。 ・10～20年後、角館との再統合の可能性がある。令和11年度統合にこだわらなくてもいいのでは。 ・あとから別で統合も可能ではないか ・統合中と生保内中との交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・また10年、20年後に統合になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合準備を一度に全部やろうとしても無理が出る。移行しながら進めていく形でもよいのです。 ・お互い折り合いをつけることが大切。 ・地元の小学校から、近隣の比較的大きな中学校に入学を希望する人も出てくるのでは？ ・制服、体育着の準備